

# 松山大学法学部学術研究会

演題：「憲法と政治：その関係をどうとらえるか」

講師：杉田 敦氏（法政大学・法学部・教授）

## 講演概要

戦後日本の歴史の中で、立憲主義の危機が、今日ほど深刻化したことはない。憲法学者や政治学者、元最高裁判所判事など、数多くの専門家や市民が疑問の声をあげる中、特定秘密保護法の制定や集団的自衛権行使容認の閣議決定、安全保障関連法の強行採決など、憲法や立憲主義を蔑ろにした強引な政治が進められている。このような政治状況の中、改めて、憲法と政治の関係について考え直す必要性が高まっている。フーコー研究や現代政治理論研究で著名な杉田教授は、憲法学の長谷部恭男早稲田大学教授と朝日新聞紙上で対談記事を連載するなど、現代日本政治にも積極的な発言を行っている。杉田教授をお迎えし、今後の展望を描く糧としたい。

コーディネーター

松山大学法学部教授 遠藤 泰弘



講師：杉田敦氏の経歴

1959 年生まれ

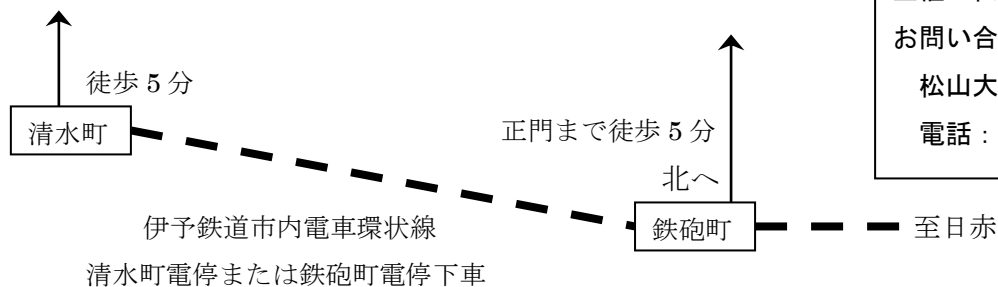
東京大学法学部卒業、新潟大学法学部助教授等を経て、現在一法政大学法学部政治学科教授  
著書—『対論 憲法を/憲法からラディカルに考える』（樋口陽一他共著、法律文化社）、  
『デモクラシーの論じ方』（ちくま新書）  
『政治への想像力』（岩波書店）他

日時：2016 年 6 月 23 日(木)

16：00～17：30

入場無料・参加自由

場所：松山大学 東本館 7 階大会議室



主催 松山大学法学部

お問い合わせ先

松山大学教務課 法学部担当

電話：089-926-7137（直通）